

第 24 回南九州ブロックミニラグビー交流大会レポート

令和 5 年 12 月 3 日（日）、川南町運動公園陸上競技場と高森近隣公園の 2 会場で南九州 4 県（大分、熊本、鹿児島、宮崎）より約 640 名のラグビーキッズが終結し、ミニ・タグラグビーの大会が開催されました。指導者、保護者を含めると 1000 名を超える規模となりました。川南町でこの規模の大会が開催されたこともラグビー普及育成にとって新たな歴史が刻まれたように思います。大会当日は、天気に恵まれました。いつしか朝の寒さを忘れるくらい日中は過ごしやすく感じました。

子ども達のラグビーの試合は、夏から秋以降に体の成長と共にラグビーの技術も数段レベルが上がっておりました。特に 6 年生を中心とした高学年の試合では、仲間を信じたプレーが見られ、ボールを繋ぐ意識を強く持って戦っていました。もちろん課題もあったかと思えます。挑戦して上手くいかないシーンもありましたが、その都度仲間が前向きな言葉で声かけ合う姿は人としての成長に出会えた瞬間でした。一番は子ども達に大きな怪我もなく大会を終えたことが何よりでした。全てのカテゴリーの子ども達がこれから益々成長し、頼もしい姿に変わっていくと思われまます。その姿に出会うことを今後の楽しみにさせていただきながら、私たち指導者も新しい知識を取り入れ、正しい情報を伝えていかなければならない事を改めて感じました。

さて、子ども達のラグビーの試合以上に熱い戦いを見せてくれたのが、お母さんチームによるタグラグビートーナメント戦でした。通称「ママタグ」として呼ばせて頂いています。各スクールのラグビーを愛するママが、トライを目指しワンチームとなって走り回っていました。急造チームとは思えないチームワークを見せてくれました。参加されたお母さん方お疲れさまでした。とても素敵な笑顔と汗を流されていましたよ！

最後になりますが、南九州ブロックミニ・タグラグビー交流会を開催するにあたり、多くの関係者の方々に大変お世話になりました。心より深く感謝申し上げます。